

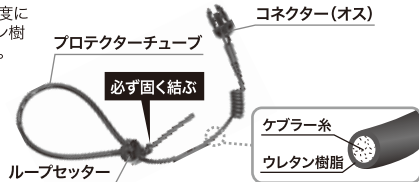
伸縮ワイヤーとバイクの固定接続

伸縮ワイヤーのバイクへの接続方法、接続箇所は各種バイクにより異なります。乗車時は様々な状況によりライダーの動きが変わります、その場面を十分想定し、誤操作による誤作動が起こらない様に、伸縮ワイヤーの長さ、バイクへの取付け位置を決めて下さい。(伸縮ワイヤー取付方法・位置 P12参照)
不適切な接続の場合、誤作動や作動しない恐れがありますのでご注意ください。

- 警告** ⚠️ 1.降車時に、接続を解除した伸縮ワイヤーがエンジン等の高熱部分に触れた場合、変形や破損の恐れがあります。
- 警告** ⚠️ 2.伸縮ワイヤーは運転の妨げになる場所への取付けは避け下さい。
- 警告** ⚠️ 3.伸縮ワイヤーをヒットエアに接続しないで走行した場合に、車輪に絡み付く場所への取付けは避け下さい。事故につながる恐れがあります。
- 注意** ⚠️ 4.乗降時・走行時に伸縮ワイヤーなどがバイクの各部位に接触した場合や、ヒットエア作動時にキーホールが抜けた際に伸縮ワイヤーの先に付いたキーホールなどがバイクの各部位に接触し、傷つく場合があります。
- 注意** ⚠️ 5.伸縮ワイヤーの取付けが不完全の場合、伸縮ワイヤーが抜けて作動しません。
- 注意** ⚠️ 6.外装にごすれ傷、こげあと、めくれ、ヒビ等の異常を確認した場合は新しいものにお取り替え下さい。そのまま使用すると、伸縮ワイヤーの切断やループセッターから抜け外れの原因となります。
- 注意** ⚠️ 7.伸縮ワイヤーのお取り替えは、各自の責任において適切に行ってください。また、事故の原因となりますので当社指定の伸縮ワイヤーを必ずご使用ください。

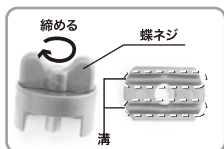
伸縮ワイヤー

伸縮ワイヤーのワイヤー部には、強度に優れたケブラー糸を使用し、ウレタン樹脂で表面をコーティングしています。



ループセッター

ループセッターは、伸縮ワイヤーの長さを調節し固定するパーツです。乗車の際に、蝶ネジが強く締まっている事を確認して下さい。長さ調節する場合は、ワイヤーをループセッターの溝に挟み込み、蝶ネジを強く締めて下さい。ループセッターより出たワイヤーは根元に結び目を作り(固く結ぶ)、先端部を2cm以上残して、余った部分を切り、キャップをはめて下さい。
※結び目が無いとワイヤーが抜けてエアバッグは膨らみません。



プロテクターチューブ

バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー。伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し、バイクのフレームやハンドルなど、巻き付け箇所の形状に応じて、適切な長さによって使用下さい。

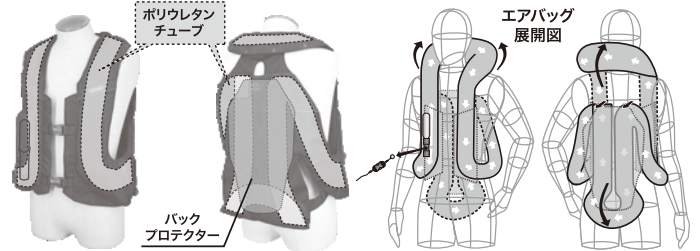


機能・構造

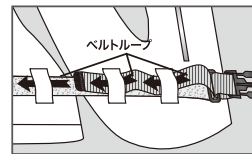
- 「一定の距離」離れた瞬間作動し、エアバッグ(気室)に炭酸ガスを送り込み膨らみます。最大限に膨らむまでも、衝撃を緩和する効果があります。
 - 胸部にあるヒットエア-CO2カートリッジボンベ及び、キーボックスの背面部分には、アクシデントなどの際にそれらの突起物が原因となる衝撃を緩和・分散させるために、緩衝材のABS製プロテクターが取り付けられています。
 - 作動後、最大限に膨らんだエアバッグ(気室)は、徐々にガスが抜ける仕組みになっています。作動直後に身体への圧迫がありますが、徐々にガスが抜けて圧迫がなくなっていきます。息苦しい場合は、脱衣して圧迫を解消して下さい。
 - ヒットエアの表生地、気室、マジックテープ、ファスナー、バックル等が傷ついたり、破損した場合は、正常な作動をしません。
 - 事故などで作動し、傷・破損等が見当たらない場合でも取扱店、又は当方にてメンテナンスチェック(※3)を行ってから再使用する事をお勧めします。
 - 使用時は前面のバックルを必ず閉じてください。
- (※3) メンテナンスチェックとは、ウェアなどに、傷・破損が見当たらない場合でも、その中に組み込まれている気室に破損がある場合がありますので、当方にて各気室に空気を入れ漏れがないか、又、組み込まれた部品に異常がないかを確認する作業です。

ヒットエア構造図

ヒットエアは、表面の生地(カバー)の中にエアバッグのポリウレタンチューブが内蔵されています。作動の際にポリウレタンチューブが膨らみ衝撃を緩和します。



サイズ調節



アジャストベルトでウェスト調節の際、必ずベルトループに通してからご使用下さい。ベルトループを通さないで使用し作動した場合に、ベルトが外れてエアバッグ本来の機能(衝撃緩和)を損なう恐れがあります。

※モデルによってベルトループの数が異なる場合があります